

バス事業における 実務上のノウハウの継承について

バス事業における実務上のノウハウの継承について

- 各バスで事業を推進する中で、実務上の知見等が蓄積されているが、それを体系的にまとめた資料はない。
- 令和3年4月に公表された「交通拠点の機能強化に関する計画ガイドライン」の第2部は実務編となっており、構想段階から管理運営段階に至るまでの実務について記載されている。
- そこで、これまでに蓄積された知見等を踏まえガイドライン実務編の記載を充実させることとした。



目次

■ 第1部 計画編

第1章 道路ネットワークにおける交通拠点の意義	
1-1 モビリティの変化と交通拠点(ノード)の役割	1-1
1-2 リンク中心からリンク×ノード×マネジメントへ	1-4
1-3 バスタプロジェクトに関するこれまでの経緯	1-8
1-4 バスタプロジェクトが目指す取組	1-13

第2章 バスタプロジェクトの概要

2-1 交通拠点とバスタプロジェクト	2-1
2-2 バスタプロジェクトにおける交通拠点の類型	2-7

第3章 交通拠点に求められる機能

3-1 交通拠点に求められる機能の全体像	3-1
3-2 交通拠点の具体的な機能	3-4
3-3 交通拠点における交通マネジメント	3-28

■ 第2部 実務編

第4章 交通拠点の機能強化の進め方	
4-1 構想段階	4-2
4-2 計画段階	4-7
4-3 事業化段階	4-38
4-4 管理運営段階	4-42

■ 附属編

1 技術基準	附属編 1-1
2 参考事例集	附属編 2-1
3 関連法制度	附属編 3-1

< 記載を充実させる内容(案) >

- ・事業段階ごとの留意点
- ・関係法制度の詳細な解説
(立体道路制度、市街地再開発事業など)